

海洋教育パイオニアスクールプログラム成果報告書

1. 学校名 大牟田市立天領小学校

2. 活動テーマ名

「大牟田の宝の海「有明海」と世界遺産「三池港」に学ぶ天領小海洋教育」

3. 実践の概要・ねらい 実践の評価について

○ 3学年 テーマ「海に親しむ」・単元「有明海・見つけた海の生きもの」

「宝の海・有明海」は世界有数の干潟を擁しており、そこに生息する生物は実に多様なものである。そこで、「海に親しむ」をテーマに、単元「有明海・見つけた海の生きもの」において、ネイチャーガイドから有明海の特徴や生息する生物についてのガイダンスを受け、実際に干潟に入り、海の生物を採集・観察する干潟観察会を実施する。その後、地域の方々や協力校の児童を招き「天領・海祭り」を開催する。

評価については、天領海祭りを行うに当たっての子どもの作品や参加の様子、感想から評価する。

○ 4学年 テーマ「海を知る」・単元「干拓から掘り出せ！先人の思い」

「海を知る」ことをテーマに干潟と関係の深い干拓を学習する。干潟との違いを体験するために、先人の残した干拓や堤防を実際に見学するとともに、郷土の歴史に詳しい人々からの学びを予定する。さらに、地域に残る干拓で働いた人々の「がたいね踊り」を保存会の方に教えていただき、その意味を考え学びを深める。

評価については、学習をまとめた子どもの成果物やがたいね踊りに取り組む様子から評価する。

○ 5学年 テーマ「海を守る」・単元「つながろう・つなげよう！ 私たちと諏訪川」

「海を守る」をテーマにし、校区に流れる諏訪川でカヌー体験や水源から汽水域の三池港までフィールドワークを行い、水質検査を実施する。環境に詳しいゲストティチャーの助言や水質検査の結果から諏訪川の環境をとらえ、ポスターやリーフレットをもとに有明海を守る活動する。

評価については、環境保全に対する取り組みの子どもの成果物や、感想から評価する。

○ 6学年 テーマ「海を利用する」・単元「100年先の大牟田の未来を考える」

「海を利用する」をテーマに、国土交通省九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所出前授業や三池港クルーズ学習を通して、「100年先の大牟田の未来を考える」学習活動を行う。その後、現在の大牟田市の事業計画や、全国の海洋の利用状況を調べ、100年先の大牟田市の海を利用した町おこしを考える。

評価については、町づくりプランを作成する活動を通して、調べ学習に対する取り組み方や話し合いの様子から評価する。

4. 実践計画

平成29年度		海洋教育年間指導計画												大牟田市天領小学校		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
天領	3年生	海に 親しむ	海洋	三池港の観察(5) 干潟の事前学習会、干潟観察会(7)						各自の課題の解決(5)		調べたことの発表(5)				
			関連	海の多様な生き物を知る・親しむ						海の多様な生き物を知る・親しむ						
			行事	※国語、社会、理科	※社会					※理科			※社会		※社会	※国語
	4年生	海を 知る	海洋							干拓の歴史を学び 課題を設定する		干拓に込められた先 人の思いと海の関係 を調べる(15)		調べたことの発表 (5)		
			関連							有明海沿岸の干拓の歴史を学び、海を干 拓の視点から知る						
			行事				◆干潟 観察会					◆美化活動				◆学習発表会
	5年生	海を 守る	海洋	諏訪川と有明海の関連を調べる(10) 海と川の関係、特に接合域の視点から考 える						諏訪川・有明海の汽水域の環境・生物を 調べる、発信する(15)		川の環境保全が海の豊かさにつながるこ とが分かり、海を守る活動へつなげる				
			関連	※国語、社会	※社会	※理科	※社会、理科			※理科	※理科	※国語、理科				
			行事									◆美化活動			◆学習発表会	
	6年生	海を 利用する	海洋		3校交流会への準備 (5)					三池港を陸と海上から観察・調査をし、 団琢磨の思考に学び、100年先の大牟 田市の海を考える(20)		調べたことの発表 (5)		海の未来への考察		
			関連		海の未来への考察					先人の考えに学ぶ、海の未来への考察						
			行事				3校交流 会(5)			※国語、理科	※国語、理科	※国語、理科		※国語、理科	※国語、理科	◆学習発表会
合同・共同学習			一	※3校交流会(6年)、クルージング(4年)、海の生き物調べ(3年)、学習交流会(テレビ会議)(6年)、合同フォーラム(5・6年)												

5. 今年度の実践

①計画からの追加・変更点

【3学年】

追加：協力校を招いた「天領海祭り」後、協力校から「みなと小祭り」に招かれ、より一層の交流と学びを深めた。

【4学年】

追加：干拓や堤防を実際に見学を行う前に、干拓に詳しい方をGTに招き、講話を受けた。また、GTも一緒にフィールドワークを行い、現地で話を聞くことができた。がたいね踊りについては、学習発表会にお招きし、衣装の着付けなどもしていただき、学習意欲を高めることができた。

【5学年】

追加：汽水域の三池港までフィールドワークを行い、水質検査を実施する段階で、近くの旧海水浴場まで行き、海に触れることができた。また、海水を水質検査することができ、海だと汚れが薄まることに疑問を持ち、課題を設定する子どももいた。

【6学年】

追加：町おこしプランを作るに当たって、授業参観で保護者の方にも考えて頂き、助言を受けることができた。また、TV会議で、よりよい町づくりにするために、質問や改善点などを交流することができた。さらに、1月には佐賀みらい学園や坊津学園の方々と取り組みについても交流することができた。最後に、東京大学にて、実践の報告をすることができた。

②実践の成果と課題

【第3学年において】

干潟の広さや生き物の多さに驚いた子ども達が多くいた。また、トビハゼやヤマトオサガニ、ムツゴロウなど、たくさんの生き物とふれあえたことが心に残った子どもが多くいた。交流においては、天領海祭りで見なと小学校と交流したことやみなと小学校と一緒に生き物を見つけたが印象に残っている子どもも多く、協同して学ぶことを楽しんでいた。その他にも、海と山はつながっていることや、海の水は貝がきれいにしていることなど、ネイチャーガイドに教えてもらうことができた。

次年度の課題としては、教科との関連を明確にし、工作物を作る時間は図工と関連づけたり、理科や社会と関連づけたりして学習を深めることである。

【第4学年において】

干拓や干潟の見学を通し、干拓の広さや干潟の違いを体験的に学習することができた。また、埋め立て地と干拓との違いなどについても深く学習をすることができた。大牟田市の干拓を表した模型を使って歴史の変遷などを学ぶことができた。かだいねおどり保存会の方々の交流を通して、干拓をした人々の話を聞き、干拓労働のつらさや干拓に込めた思いについて学びを深めることができた。

次年度の課題としては、海や川との直接的な関わりが少なく、子どもにとっては海や川を実感することが難しかった。また、話を聞くことが多く、受動的な学習場面が多かった。干拓については、社会科での学習を中心として考えていきたい。

【第5学年において】

カヌー体験や川遊び・砂浜遊びができたことで、諏訪川がどれだけ汚いかや海の砂の感触を実感することができた。また、思っていたより上流がきれいだったことに感激をする子どももいて、実体験の大切さを痛感した。GTから生き物教室でいろいろな植物や生き物を知り、校区の川や海の魅力についてよく理解することができ、ビデオレターやポスター作りの学習意欲の原動力となった。

次年度の課題としては、教科との関連が不明瞭であったため、教科との関連づけをして学習を深めていく。また、発信に向けて、一方向での発信であったので、関連機関との交流を広げたり、深めたりしていきたい。

【第6学年において】

有明海クルーズを通して、大牟田のまちを客観的にとらえることができ、三池港を中心に自分たちで100年後の未来を考えるきっかけづくりになった。また、大牟田の町づくりを保護者や他校と協力しながら考えることで、物事を多面的に考えることができた。

TV会議を通して、地球温暖化によって絶滅してしまう生き物がいることや、いろいろな生

き物を知る機会になり、深い学びとなった。

次年度の課題としては、まちづくりが実現可能という視点が少なく、夢物語の部分も多かった。町づくりプランを考える際には、実現可能かどうかなどの視点をもたせるとともに、現在の大牟田の政策などをきちんと理解させておく必要があった。また、三池港を中心とした町づくりにしたために、町づくりの活動自体が難しい部分もあった。

6. 主な連携機関及び内容

- 3年生 ネイチャーガイドオオムタ「自然案内人」
荒尾市観光協会 : 干潟観察での連携
- 4年生 がたいね踊り保存会 : がたいね踊りの指導、講話
里山保存会 : 大牟田の干拓における歴史についての講話
- 5年生 駛馬地区公民館 : カヌー体験、諏訪川の生き物の講話
- 6年生 大牟田市教育委員会 : TV 会議、3校交流会、海洋フォーラム等
国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所

6年 100年先の「大牟田の未来」を見つめよう

目指す姿	<p>○大牟田の近代化遺産について興味や関心を持ち、近代化遺産の役割や歴史について課題をもつことができる。 大牟田の近代化遺産の役割や歴史を、インターネットや書籍などの資料を用いて調べることができる。 三池港を調べることで、団 琢磨が目指した「100年先の大牟田」への思いを知るとともに、現在大牟田市が取り組んでいる施策を調べ、今後100年の大牟田の発展を考えたプロジェクトを提案することができる。 近代化遺産を生かした町づくりを行うためにはどうすればよいのか、さまざまな事例をインターネットや資料表現することができる。</p>											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
--	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

体験的な活動	<p>①近代化遺産見学や三池港クルーズなどを通して、大牟田の町づくりに関心をもつ。 ・近代化遺産見学 ・三池湊クルージング</p>											
探求的な活動	<p>②三池港を観光地や郷土の誇りとしてのPR活動をするためにはどうするか考える。 ・大牟田が進めているエネルギー産業と関連付けて、エコタウン大牟田としての発展について考える。 ・三池港を中心に、大牟田の近代化遺産の歴史や役割について調べる。</p>											
表現活動	<p>③交流校に向けて、大牟田の近代化遺産についてのポスターセッションを行う。 ・三池港のPR活動 ・エコタウン大牟田の町づくり提案 ・近代化遺産を活用した町づくり 等</p>											



5年 つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海

目指す姿	<p>○ 自分たちの校区に流れている諏訪川について興味を持ち、その役割や自然環境について課題を持つことができる 課題から、追求の見通しを持ち、インタビューや資料などの情報から、諏訪川について調べることができる。 調べたことや収集した情報をもとに考えたことなどをまとめ、伝える相手と方法を考え、活動計画を立てることができる。 環境保全の視点から諏訪川に対して課題を設定し、諏訪川や有明海のもつ魅力を追求して、導き出した自分なりの解決方法をポスター新聞などのなどといった表現方法で工夫しながら表現できる。</p>											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動							<p>①諏訪川の上流・中流・下流の様子を実際に見学したり、水質検査を行い、諏訪川の実態をつかむ。 ・GTを招き、諏訪川周辺にいる生物について話を聞く。 ・カヌー体験を通して、諏訪川に親しむ。</p>					
探求的な活動							<p>②ポスターや新聞、ビデオレターの構成や資料を考えたり、イベント内容を表現方法を考えたり自分たちが伝えたいことが効果的に相手に伝わるような発表方法を追求する。 ・プレゼンテーション ・ポスターセッション ・ビデオレター</p>					
表現活動							<p>③家族や地域、他校や在校生に向けて、自分たちの考えを発信し、活動のよさをGTに評価してもらったり、自分の考え方の高まりを振り返る。</p>					

4年 干拓から掘り出せ！先人の思い

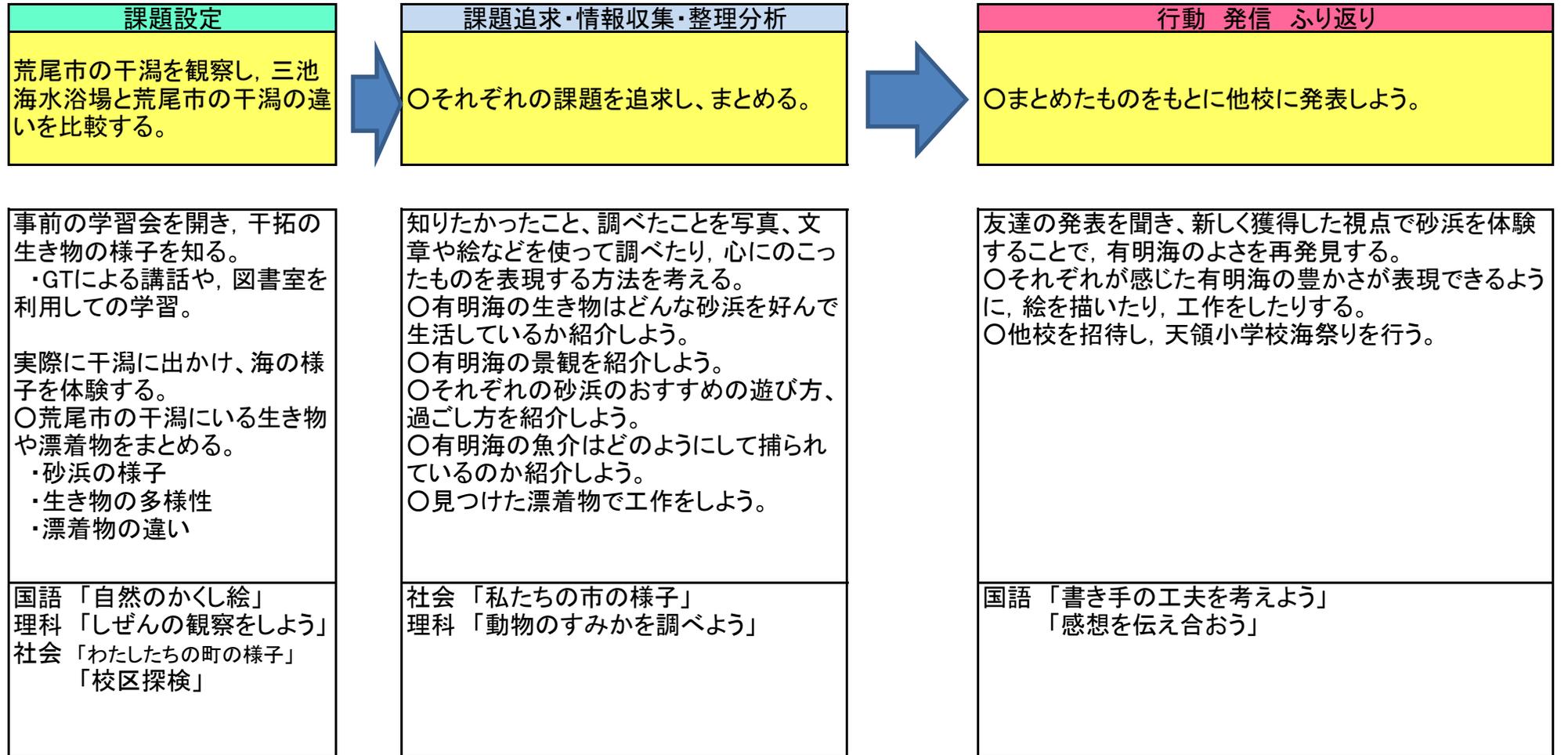
目指す姿	<p>○大牟田の歴史について興味を持ち、その役割や歴史について課題を持つことができる。 課題から、追求の見通しを持ち、インタビューや資料などの情報から、大牟田の干拓の歴史を調べることができる。 調べたことや収集した情報をもとに考えたことなどをまとめ、伝える相手に分かりやすく表現することができる。大牟田に愛着を持ち、干拓によって大牟田が豊かになったことに気づくことができる。 干拓していった先人の思いを知り、自分たちが干拓するならどんな願いでどこに干拓を行うのかを根拠をつけて発信する。自分が調べたい課題を設定したり、干拓について意欲的に調べるとともに、クイズ新聞という表現方法を自ら工夫することができる。</p>											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<p>①干拓見学や堤防見学をし、課題を設定する。 ・干拓に見学に行く準備をする。写真で見たことや、調べたいことをもとに見学の計画をたてる。 ・GTをまねき、干拓の様子や歴史について話を聞く</p>											
探求的な活動	<p>干拓の歴史や思いを調べよう ・干拓はどんな人達がつくったのか？ ・干拓の大きさは？ ・干拓をつくるのに、いくらかかったか？ ・干拓をつくるのにどれだけ多くの人が働いたか？ ・干拓ができたことでのメリット・デメリットは？</p>											
表現活動	<p>③調べたことをもとに干拓新聞づくりやがたいね踊り行う。 ・干拓新聞を他校に発信する。 ・がたいねおどりを学習発表会でおこなう。</p>											

3年 有明海・見つけた海の生きもの ストーリーマップ

目指す姿	○有明海・再発見プロジェクト ・有明海を調べる活動を通し、有明海の豊かさに親しみ、有明海のよさを調べて、友達に発信する。
------	---

総合的な学習の時間

教科との関連



3年 有明海・見つけた海の生きもの ストーリーマップ

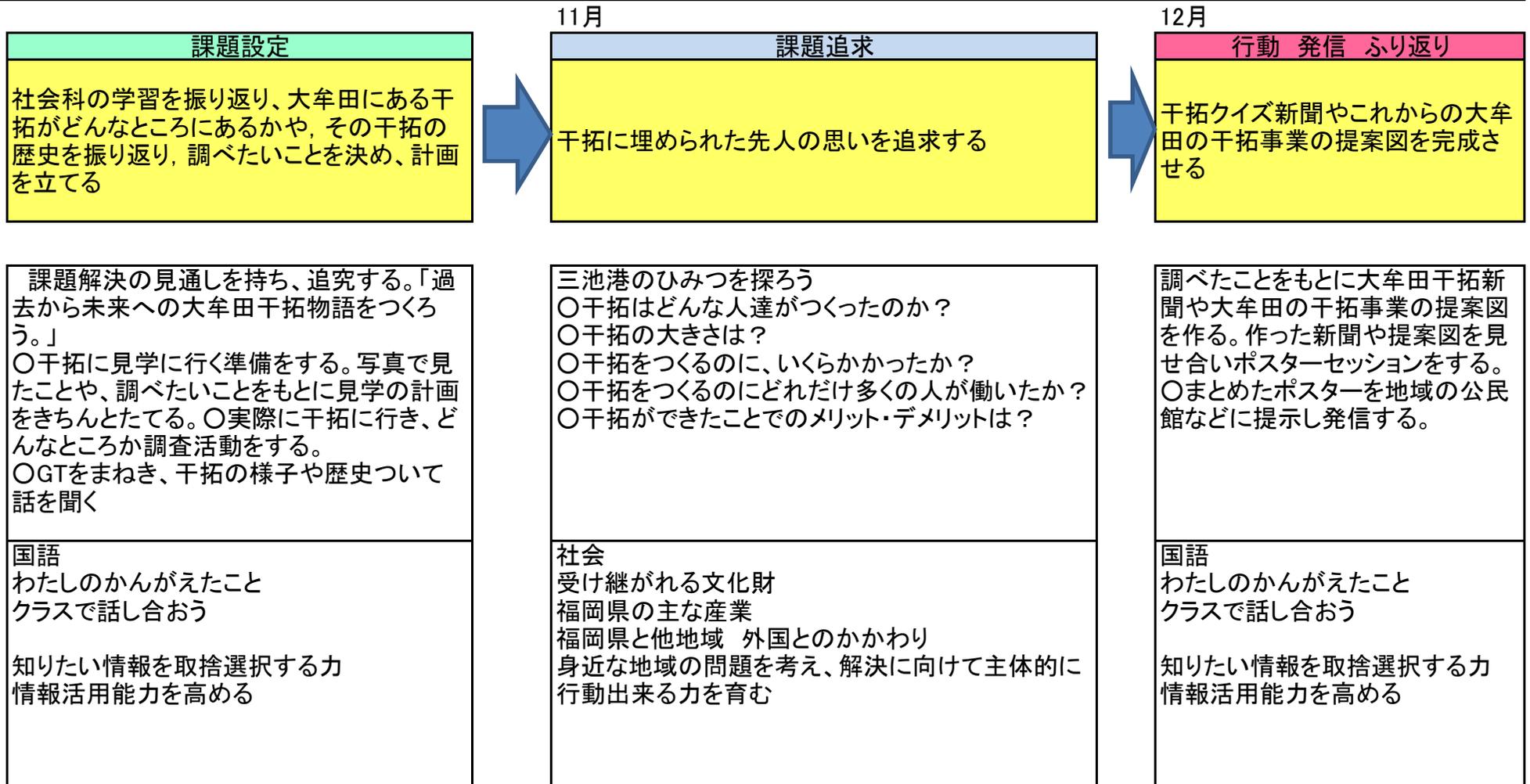
目指す姿	<p style="text-align: center;">○有明海・再発見プロジェクト</p> <p style="text-align: center;">・有明海を調べる活動を通し、有明海の豊かさに親しみ、有明海のよさを調べて、友達に発信する。</p>											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<p>①荒尾市の干潟を観察し、課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の学習会を開き、干拓の生き物の様子を知る。 ・GTによる講話や、図書室を利用した学習。 ・実際に干潟に出かけ、海の様子を体験する。 											
探求的な活動	<p>②知りたかったこと、調べたことを写真、文章や絵などを使って調べたり、心にのこったものを表現する方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明海の生き物はどんな砂浜を好んで生活しているか紹介しよう。 ・有明海の景観を紹介しよう。 ・干潟の生き物の紹介をしよう。 											
表現活動	<p>③友達の発表を聞き、有明海のよさを再発見する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが感じた有明海の豊かさが表現できるように、絵を描いたり、工作をしたりする。 ・他校を招待し、天領小学校海祭りを行う。 											

4年 干拓から掘り出せ！先人の思い ストーリーマップ

目指す姿	<p>○大牟田の歴史について興味を持ち、その役割や歴史について課題を持つことができる。</p> <p>課題から、追求の見通しを持ち、インタビューや資料などの情報から、大牟田の干拓の歴史を調べることができる。</p> <p>調べたことや収集した情報をもとに考えたことなどをまとめ、伝える相手に分かりやすく表現することができる。大牟田に愛着を持ち、干拓によって大牟田が豊かになったことに気づくことができる。</p> <p>干拓していった先人の思いを知り、自分たちが干拓するならどんな願いでどこに干拓を行うのかを根拠をつけて発信する。自分が調べたい課題を設定したり、干拓について意欲的に調べるとともに、クイズ新聞という表現方法を自ら工夫することができる。</p>
------	--

総合的な学習の時間

教科との関連

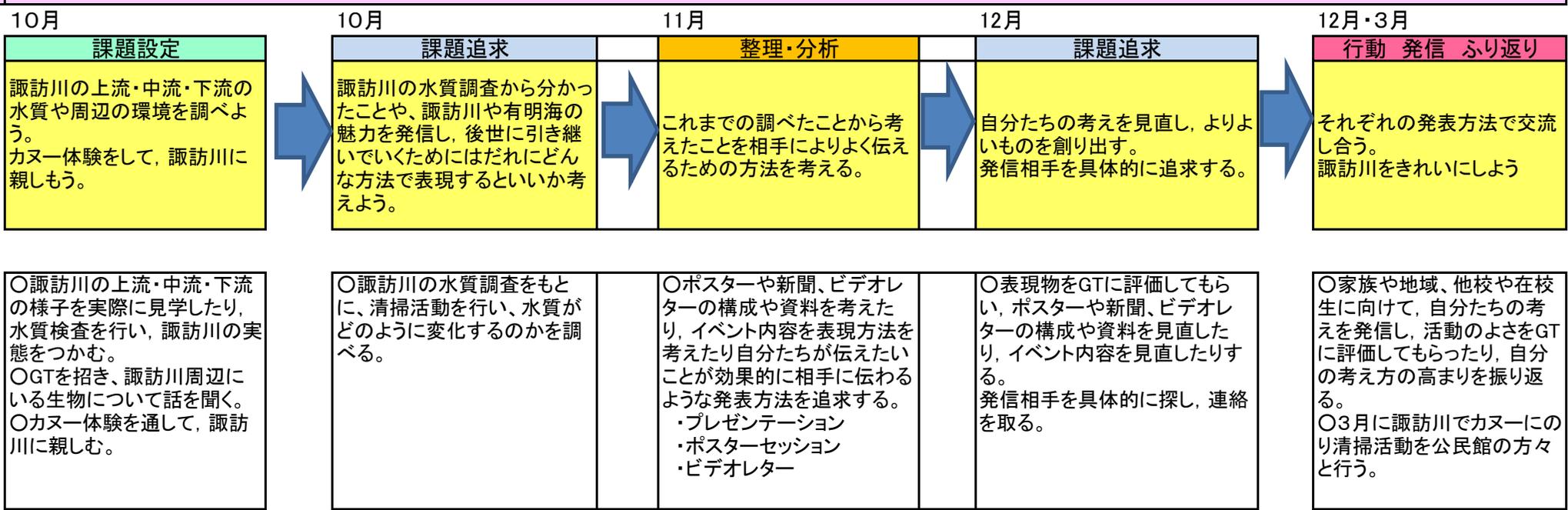


5年 つながろう！つなげよう！私たちと諏訪川と有明海

目指す姿

○ 自分たちの校区に流れている諏訪川について興味を持ち、その役割や自然環境について課題を持つことができる
 課題から、追求の見通しを持ち、インタビューや資料などの情報から、諏訪川について調べることができる。
 調べたことや収集した情報をもとに考えたことなどをまとめ、伝える相手と方法を考え、活動計画を立てることができる。
 環境保全の視点から諏訪川に対して課題を設定し、諏訪川や有明海のもつ魅力を追求して、導き出した自分なりの解決方法をポスター新聞などのなどといった表現方法で工夫しながら表現できる。

総合的な学習の時間



国語
書き手の意図を考えながら
新聞を読もう
活動したことを伝える文章
を書こう

知りたい情報を取捨選択
する力
情報活用能力を高める

社会
住みよい暮らしと環境
工業の今と未来
環境を守る人々

身近な地域の問題を考え、
解決に向けて主体的に行
動出来る力を育む

環境に配慮した工業のあり
かたを学ぶ

国語
資料を生かして考えよう
説明に必要な資料を集め、
資料を遣いながら説明しよ
う。

国語
資料を生かして考えよう
説明に必要な資料を集め、
資料を遣いながら説明しよ
う。

家庭科
環境を考えたエコライフを
くふうしよう

